

# 文化財保護

## 目標

川越市は、先人の努力により県内有数の歴史的遺産を受け継いでいる。これらの地域において保存・伝承してきた歴史的建造物や史跡・天然記念物、伝統的な芸能や風俗習慣など、伝統文化を将来の世代に守り伝えるとともに、それら文化財の活用を積極的に推進する。

- 指定文化財の保存と活用に努める。
- 郷土芸能の保存・継承のため後継者の育成を図る。
- 開発等により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存する。
- 各種文化財の調査を進める。
- 国指定史跡である「河越館跡」の公有地化を進め、あわせて発掘調査を実施するとともに史跡公園としての整備事業を進める。

## 文化財の保存

### 1. 文化財保存補助事業

川越市には、国・県・市指定文化財等が252件あり、これらの保存を目的に補助金を支出している。

#### ○平成23年度の支出件数

- |                          |     |                |    |
|--------------------------|-----|----------------|----|
| ● 無形民俗文化財の後継者育成等         | 17件 | ● 建造物等の防災設備保守等 | 9件 |
| ● 有形文化財の保存修理、史跡・天然記念物の保存 | 9件  | ● 団体の育成        | 2件 |

### 2. 指定文化財の調査

平成23年度には、市の指定文化財候補として、黒地小花模様小紋帷子、白綾地松竹鶴亀宝尽模様産衣の2件について調査し、市の指定文化財とした。その他の文化財調査としては、川越商工会議所関係の文献調査を実施した。

### 3. 文化財防火訓練

毎年1月26日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼失を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目標としている。川越市でも、この日にあわせて文化財防火訓練を実施し、文化財保護の意識の高揚を図っており、喜多院・東照宮・日枝神社を会場として川越地区消防組合等と共に開催で、防火訓練を実施している。

### 4. 管理施設

施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	建築年	指定年月日
山車集中保管庫	郭町2-25-12	1,071.80m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	270.90m <sup>2</sup>	昭和45年(1970)	
時の鐘	幸町15-7	52.89m <sup>2</sup>	木造内部4層	20.66m <sup>2</sup>	明治27年(1894)	昭和33年3月6日
施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	建築年	指定年月日
永島家住宅 (旧武家屋敷)	三久保町5-3	1,184.62m <sup>2</sup>	木造平屋	177.94m <sup>2</sup>	平成18年3月27日	建物の一部(31.41m <sup>2</sup> )は個人所有。
施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	建築年	整備年
国指定史跡河越館跡史跡公園	上戸192-1他				12,172m <sup>2</sup>	平成21年 (2009)
川越城中ノ門堀跡	郭町1-8-6				1,078.56m <sup>2</sup>	平成22年 (2010)

### 5. 文化財登録制度(登録文化財)

この登録制度は、指定制度を補完する制度である。保護対象の登録及び登録物件に関する届出制と、それに対する指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じる制度である。

なお、平成16年の法改正で、建造物以外の有形文化財と有形民俗文化財、記念物の登録制度が創設されている。

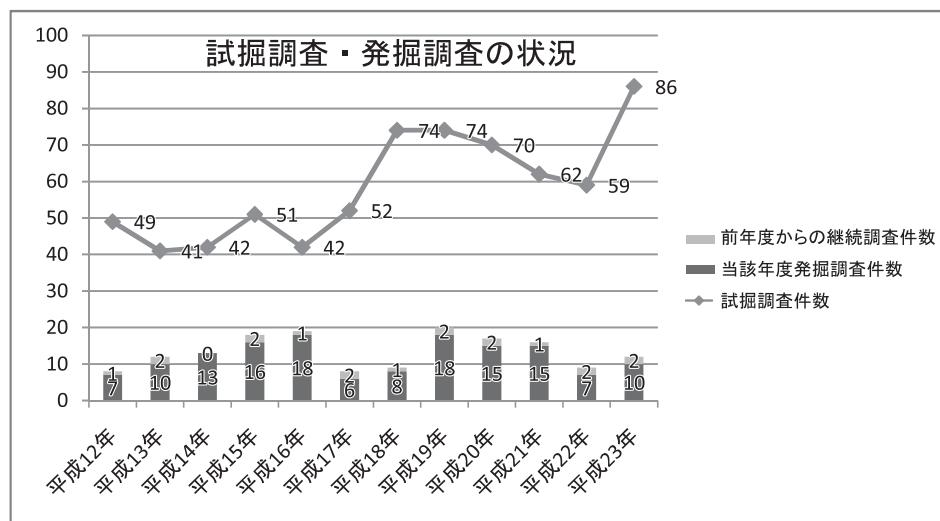
川越市内では、埼玉りそな銀行川越支店（旧八十五銀行本店本館）が、埼玉県では最初の登録有形文化財となったのをはじめ、旧山崎氏別邸庭園が登録記念物として文化財登録原簿に登録され、現在までに11件を数えている。

## 6. 埋蔵文化財

川越市内では、現在344ヶ所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは、国・県の指導のもと、詳細な分布調査を行い設定されたものである。こうした埋蔵文化財包蔵地の範囲内で開発行為を行う場合は、工事に先立って埋蔵文化財の存否を確認する試掘調査が必要である。平成23年度は、86件の試掘調査を実施した。試掘調査により、埋蔵文化財の存在が確認された場合、開発者との間で遺構の保存について協議し、どうしても破壊を免れないものについては、遺跡の姿を記録保存し後世に伝えるための発掘調査を実施している。

平成23年度は12件（22年度からの継続2件を含む）の発掘調査を実施し、それぞれの調査で重要な成果が得られている。以下にその一部を紹介したい。

堂山遺跡第1次調査では、縄文時代中期の住居跡2軒が発掘調査された。このうちの1軒は増築されており、この集落が長期にわたり存続されたことがわかる。塚下1号古墳・2号古墳第1次調査は中世の塚群の発掘調査である。隣接する鎌倉街道伝承地との関係解明が今後の課題である。天屋坂遺跡第1次調査では、5世紀初頭に築造された円墳が新たに確認された。入間郡最古級の古墳である三変稻荷神社古墳に



後続するものとして注目される。河越館跡史跡整備第16次調査は、今後の第2期整備に向けての確認調査である。昨年に引き続き、河越氏の時代にまで遡る生垣の痕跡が検出された。

以上のように、平成23年度の調査では地域の歴史を物語る数々の遺構・遺物が出土している。

## 指定文化財一覧

(平成24.3.31現在)

国 指 定 文 化 财			县 指 定 文 化 财			市 指 定 文 化 财		
種	別	件	種	別	件	種	別	件
重 要 文 化 财	建 造 物	4	有 形 文 化 财	建 造 物	9	有 形 文 化 财	建 造 物	47
	絵 画	2		絵 画	2		絵 画	1
	工 芸 品	4		彫 刻	2		彫 刻	12
	書籍・典籍・古文書	1		工 芸 品	3		工 芸 品	19
	無形民俗文化財	1		書籍・典籍・古文書	6		書籍・典籍・古文書	25
記念物	史 跡	1		考 古 資 料	1		考 古 資 料	7
指 定 文 化 財 計				歷 史 資 料	1		歷 史 資 料	5
			民 俗 文 化 财	有形民俗文化財	1	民 俗 文 化 财	有形民俗文化財	20
重要伝統的建造物群保存地区				無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	11
重 要 美 術 品			記 念 物	史 跡	3		史 跡	32
登 錄 有 形 文 化 財				天然記念物	1		天然記念物	7
登 錄 記 念 物				旧 跡	4	計		
計			計			計		
			27			39		
			252 件			186		

# 文化財の活用

## 1. 関係団体との連携

文化財保護の意識の高揚、伝統芸能の保存育成を目的とし、埼玉県文化財保護協会、川越市文化財保護協会、各民俗芸能保存団体等と連携して、各事業の実施や援助を行っている。

## 2. 出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。文化財保護課の他に、一部出版物については市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。なお、書籍については有償にて頒布している。

## 出版物一覧

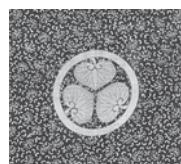
パンフレット	川越の歴史年表
	川越建物細見
	国指定史跡河越館跡
	川越市指定文化財時の鐘
	川越の祭りと芸能
	国指定史跡河越館跡史跡公園
	川越城中ノ門堀跡
	市指定文化財旧山崎家別邸
	市指定史跡永島家住宅(旧武家屋敷)
	川越市の文化財
書籍	ハンドブック川越の歴史
	川越の伝説
	続川越の伝説
	川越の人物誌 第1集
	川越の人物誌 第2集
	川越の人物誌 第3集 女性編
	川越氷川祭りの山車行事調査報告書
	文化財案内マップ
	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区的民俗
	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
元町二丁目井上家文書目録	元町二丁目井上家文書目録
	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
	川越の神社建築
	川越の寺院建築

# 新指定文化財

## 市指定文化財

○黒地小花模様小紋帷子（平成24年2月21日）

喜多院に伝わる小紋染めの帷子である。帷子とは、麻布で仕立てた夏用の裏地の無い小袖型の着物をいう。身丈は約136cm。染めは、葵の葉を小花風にデザインした型紙を使い、大豆の豆汁と墨を顔料として染めた小紋染めとなっている。帷子の前と後ろの5ヵ所には古様の三つ葉葵の家紋が染められている。



【模様拡大】

しろあやじ しょううちくつるかめたからづくし も よううぶ ぎ  
○白綾地松竹鶴亀宝尽模様産衣 (平成24年2月21日)

喜多院に伝わる白絹の綾織の産衣である。身丈は約117cm。上質な絹糸を使い浮織と呼ばれる織り方で産衣全面に蓑・笠・七宝などの宝尽くしの模様や若松、竹などの模様をふくらと、やさしい風合いに織上げられている。さらに前と後ろの5カ所に配された三つ葉葵の下には、松竹、筍、鶴亀が刺繡されるという贅沢な産衣となっている。

今回指定された二領の衣料は、江戸時代前期の徳川將軍家のごく限られた人が着たものと考えられる。工芸品としての質の高さだけでなく、天海僧正を通じて徳川將軍家と繋がりのあった喜多院の歴史を知る上で貴重な文化財と言える。



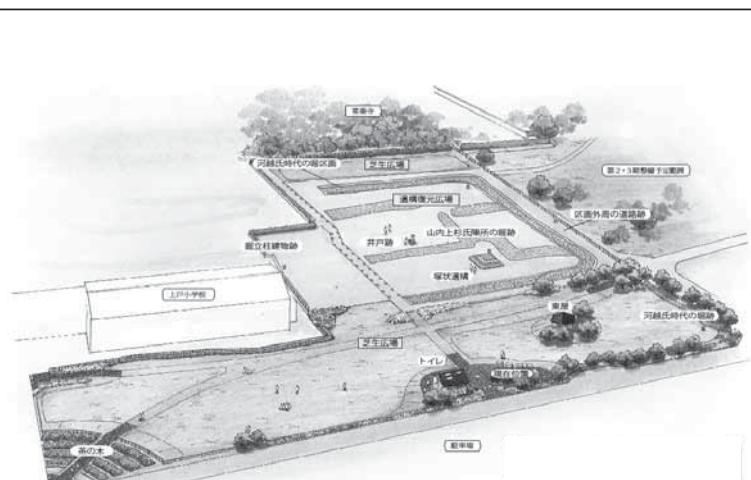
【模様拡大】

## 国指定史跡「河越館跡」

河越館跡は、入間川の左岸、上戸地区の常楽寺を中心とした地域に位置し、その指定区域面積は、48,509.18m<sup>2</sup>である。当館跡は、鎌倉～南北朝時代に武藏国で有力な武士であった河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の史跡として指定を受けている。

館跡の整備を進めるにあたって、川越市は昭和61年に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成12年度には、「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に沿って史跡整備事業を行っている。

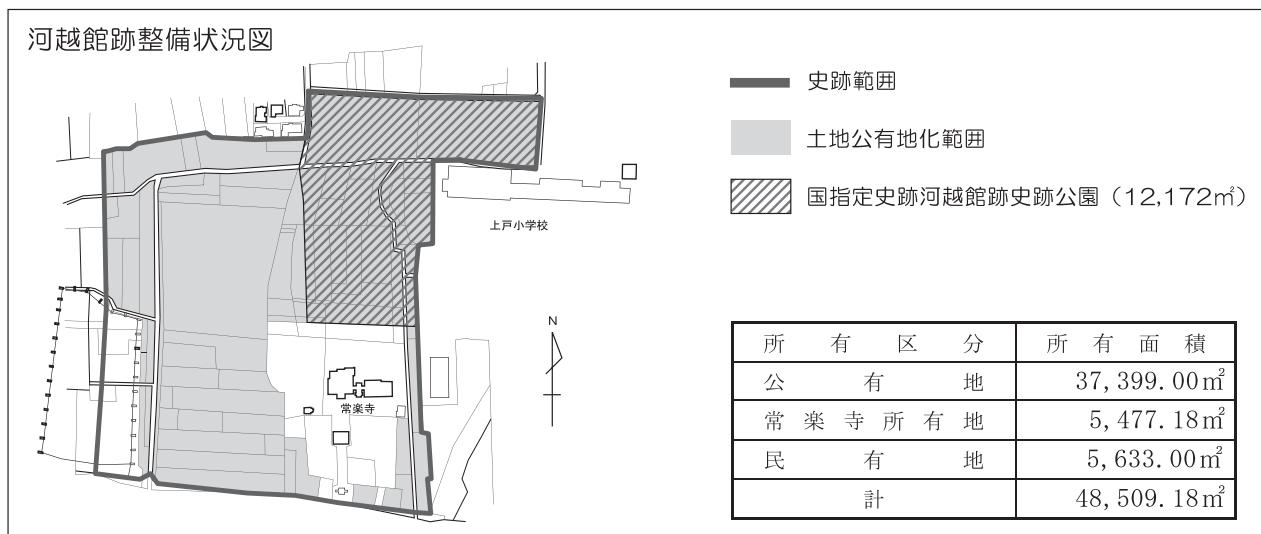
整備事業は、国・県の補助をうけ、土地の公有地化、遺跡確認発掘調査とその成果に基づく遺構・施設整備を実施している。土地は、公有地化予定面積の約93%（一部民有地を除く）を取得している。発掘調査は、今までに16回実施しており広大な史跡範囲を効率よく調査するため、学識経験者を中心とする調査指導委員会を設置して指導・助言を受けながら進めている。遺構・施設整備内容の検討は、歴史系だけでなく建築や造園など広い分野の研究者で構成している整備検討委員会によって進めており、平成17年度には「河越館跡史跡整備基本設計」を策定した。続いて、平成19年度には、遺構整備・施設整備についてより具体的に検討した「河越館跡(第1期)史跡整備実施設計」を策定した。なお、この「実施設計」を基本に河越館跡(第1期)史跡整備工事を平成19年度から平成21年度の3カ年で実施。平成21年11月15日「国指定史跡河越館跡史跡公園」として開園した。公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩い



国指定史跡河越館跡史跡公園 施設案内図

の場として有効な活用を目指すことを目的としている。また、「史跡の広場」「茶太郎広場」の2つにゾーニングされており、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を中心に復元したものとなっている。一方、「茶太郎広場」は、中世の銘茶「河越茶」と深い関係があったと考えられる河越氏に因んで生まれた史跡公園のイメージキャラクター「河越茶太郎」が元気よく遊ぶ姿をイメージし名付けられた。広々とした芝生の中にある東屋とともに憩いの空間として利用でき、様々なお茶の木についても楽しめる広場である。

平成23年度は、史跡河越館跡の歴史的意義や文化的価値を広く理解してもらうための活用事業として「河越流鏑馬」や研修、学校への出前授業などを実施した。平成24年度では、活用事業をさらに充実させていくとともに、23年度をもって完了した発掘調査の成果を精査、検討し第2期整備に向けての準備を行う。



復元された堀



史跡公園の様子

## 市指定史跡 「永島家住宅（旧武家屋敷）」

〔所在地〕 川越市三久保町5番3 〔敷地面積〕 1184.62m<sup>2</sup> (市有地)

〔建物構造〕 木造平屋 〔建物面積〕 177.94m<sup>2</sup> (市所有146.53m<sup>2</sup> 個人所有31.41m<sup>2</sup>)

### 【概 要】

永島家住宅は、川越城南大手門近くの侍町であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、その武家屋敷に住んでいた武士は、松平大和守家時代には250

石から350石、最後の松平周防守家時代には110石の武士が住んでいたことがわかっている。また、特に御典医の居住が知られ、周防守家の石原昌廸は、30人ほどからなる藩医の筆頭の立場にあったことがわかっている。

明治時代には、石原家がそのまま屋敷としていた。石原昌廸の二男・久は、東京帝大に進学しドイツ留学を経て帝大の口腔外科初代教授に就任している。久が留学する頃から永島家が屋敷を借りて住み始め、大正6年に石原氏から買い取っている。

#### 【経緯】

平成

17年7月 永島家住宅の市買取り保存整備要望がオンブズマン会議に申し立てられる。

11月・12月 川越市文化財保護審議委員会が文化的な価値を判断するために調査。

18年3月27日 永島家住宅(旧武家屋敷)が市指定文化財になる。[種別・史跡 面積1184.62m<sup>2</sup>]

21年6月 史跡の一部(302.46m<sup>2</sup>)が永島氏より市に寄付される。

22年8月 東海大学情報デザイン工学部羽生研究室が建物調査。

9月 史跡の残地全部(882.16m<sup>2</sup>)が永島氏から市に寄付される。

23年6月 「歴史まちづくり法」の「歴史的風致維持向上計画」の「重点区域における施策・事業」に位置付けられる。

7月 建物(全体の約8割、146.53m<sup>2</sup>)が、永島氏から寄付される。合わせて残り約2割の建物を市が無償貸借することを契約する。

8月 第1回永島家住宅保存管理計画策定委員会

10月 第2回永島家住宅保存管理計画策定委員会

24年1月 第3回永島家住宅保存管理計画策定委員会

3月 第4回永島家住宅保存管理計画策定委員会(永島家住宅保存管理計画書完成)

#### 【23年度の保存・活用事業】

- ・永島家住宅保存管理計画の策定。
- ・平成24年3月31日(土)より、庭の公開を始める。(見学者・91人)



市指定史跡の永島家住宅(旧武家屋敷)

## 資料編

### 教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課	
昭和33年5月	係の新設 総務課……庶務係、経理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係	
昭和38年10月	保健体育課の新設 総務課……庶務係、管理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係 保健体育課……保健係、体育係	
昭和43年11月	学校給食企画課の新設 学校給食企画課……調査企画係	
昭和44年8月	学校給食センターの設置 学校給食企画課の廃止	
昭和49年7月	社会教育課に2係新設 社会教育課……同和教育係、文化財係	
昭和52年8月	学校給食課の新設 学校給食課……庶務係、管理係	
昭和56年8月	総務課に1係新設 総務課……施設係	
昭和58年4月	教育次長2人制となる	
平成元年7月	2部5課12係となる 管 理 部……総務課 教育財務課 指 導 部……学校教育課 社会教育課 保健体育課	庶務係、企画調整係 管理係、財務係 学務係、指導係 社会教育係、同和教育係、文化財係 保健係、体育係、給食係
平成6年4月	2部6課15係となる 管 理 部……教育総務課 教育財務課 保健体育課 指 導 部……学校教育課 生涯学習課 文化財保護課	総務係、企画調整係 管理係、財務係、学童保育係 保健係、社会体育係、給食係 学務係、指導係 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 管理係、調査係
平成9年4月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として）	
平成11年4月	2部6課14係となる 2部7課17係となる 生涯学習部……教育総務課 教育財務課 生涯学習課 市民スポーツ課 文化財保護課 学校教育部……学校管理課 教育指導課	総務係、企画調整係 管理係、財務係、学童保育係 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 スポーツ振興係、国体準備担当 管理係、伝建地区担当、調査係 学務係、教職員係 指導係、保健係

平成13年 4月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当
平成15年 4月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4月	生涯学習部に高階公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管

## 委員会等一覧

### ○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…平成23年7月25日～平成25年7月24日

### ○川越市就学支援委員会

委員…25人 任期…平成24年4月1日～平成25年3月31日

### ○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…平成23年10月1日～平成25年9月30日

### ○川越市人権教育推進協議会

委員…18人 任期…平成23年4月1日～平成25年3月31日

### ○川越市小堤集会所運営委員会

委員…9人 任期…平成23年4月1日～平成25年3月31日

### ○川越市公民館運営審議会

委員…23人 任期…平成23年5月16日～平成25年5月15日

### ○川越市コミュニティセンター運営審議会

委員…10人 任期…平成24年4月1日～平成26年3月31日

### ○川越市文化財保護審議会

委員…12人 任期…平成23年4月1日～平成25年3月31日

### ○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…平成24年6月5日～平成26年6月4日

### ○川越市立図書館協議会

委員…15人 任期…平成23年1月17日～平成25年1月16日

### ○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…15人 任期…平成23年9月1日～平成25年8月31日

## 歴代教育委員会委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
岸 憲夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22
佐々木 文藏	S 30. 5. 1	S 31. 9. 30
竹内 栄吉	S 31. 10. 1	S 39. 9. 30
橋村 尚中	S 39. 10. 1	S 40. 8. 13
水村 三郎	S 40. 8. 13	S 42. 11. 30
内田 秀夫	S 42. 12. 1	S 44. 11. 30
佐々木 文藏	S 44. 12. 1	S 45. 10. 12
内田 秀夫	S 45. 11. 9	S 49. 4. 2
鈴木 咸	S 49. 4. 3	S 49. 12. 20
鈴木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7
水村 三郎	S 51. 4. 8	S 62. 1. 15
関本 定雄	S 62. 1. 16	H 8. 7. 27
采澤 好子	H 8. 10. 4	H 10. 10. 3
佐久間 勇次	H 10. 10. 4	H 12. 9. 30
齊藤 信子	H 12. 10. 10	H 18. 12. 27
伊藤 幾造	H 19. 1. 5	H 21. 3. 31
星野 明徳	H 21. 4. 1	

## 歴代教育長

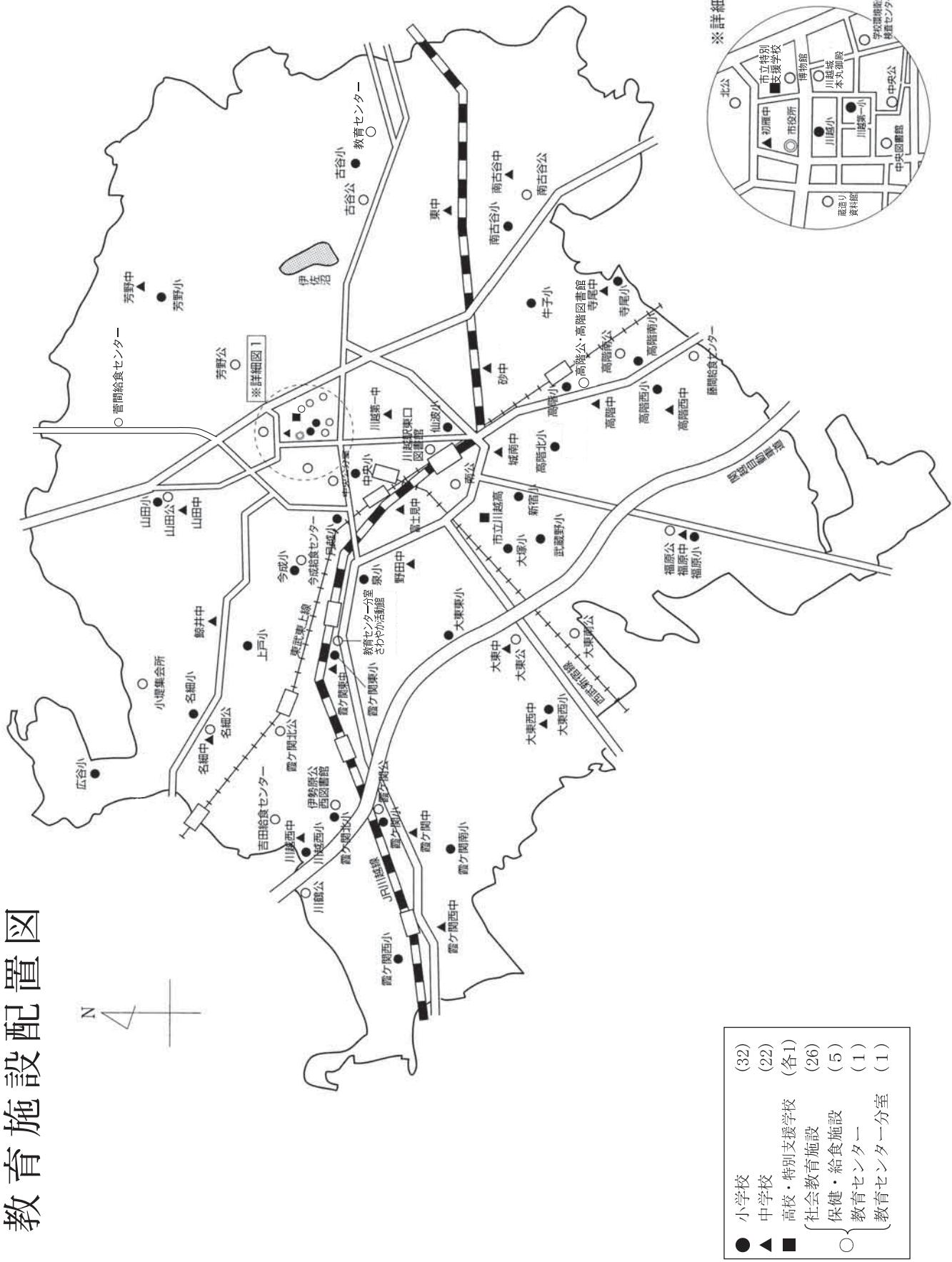
氏名	就任年月日	退任年月日
江原 四郎	S 27. 11. 1	S 32. 9. 30
大塚 仁之助	S 32. 10. 1	S 35. 9. 30
斎藤 芳一	S 35. 10. 1	S 51. 9. 30
斎藤 芳一	S 51. 10. 15	S 55. 10. 5
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3. 31
大久原 秀雄	H 7. 4. 1	H 13. 3. 31
星野 明徳	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31
新井 孝次	H 21. 4. 1	

## 歴代教育委員会委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
岸 憲夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22	
佐々木文藏	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
橋本 正代	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
青山 四郎	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
西川 卵八	S 27. 10. 28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7. 14	"
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
小林玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
加藤源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	"
岸野仁太郎	S 30. 5. 19	S 31. 5. 28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5. 28	S 31. 9. 30	議会選出
竹内 栄吉	S 31. 10. 1	S 39. 9. 30	
仲 篤司	S 31. 10. 1	S 34. 9. 30	
橋村 尚中	S 31. 10. 1	S 40. 8. 13	
粕谷 武藏	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	
粕谷 武藏	S 32. 11. 9	S 36. 11. 8	
大塚仁之助	S 31. 10. 1	S 35. 9. 30	教育長
斎藤 芳一	S 35. 10. 1	S 51. 9. 30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口道之助	S 39. 12. 24	S 47. 12. 23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3. 31	
佐々木文藏	S 41. 4. 7	S 45. 10. 12	
鈴木 咸	S 45. 12. 21	S 49. 12. 20	

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
岩田 正	S 47. 12. 28	S 55. 12. 27	
鈴木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50. 12. 25	S 54. 12. 24	
斎藤 芳一	S 51. 10. 6	S 55. 10. 5	教育長
田中 賢司	S 52. 12. 24	S 53. 12. 24	
田中 賢司	S 53. 12. 27	H 6. 12. 26	
関本 定雄	S 55. 7. 28	H 8. 7. 27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6. 19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3. 31	教育長
大久原秀雄	H 5. 4. 1	H 13. 3. 31	教育長
采澤 好子	H 6. 12. 27	H 10. 12. 26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3. 31	
伊藤 幾造	H 8. 10. 1	H 21. 3. 31	
佐久間勇次	H 8. 10. 1	H 12. 9. 30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H 13. 3. 31	
齊藤 信子	H 10. 12. 28	H 18. 12. 27	
長澤 仁志	H 12. 10. 1	H 16. 9. 30	
長澤 仁志	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
深井 英男	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	
星野 明徳	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	教育長
臼倉喜美枝	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	教育長
相馬 實	H 18. 12. 28	H 22. 12. 27	
星野 明徳	H 21. 4. 1		
長谷川 均	H 21. 4. 1		
後藤 佳子	H 21. 4. 1		
新井 孝次	H 21. 4. 1		教育長
梶川 牧子	H 22. 12. 28		

# 教育施設配置図



---

# 川越市の教育

平成24年8月

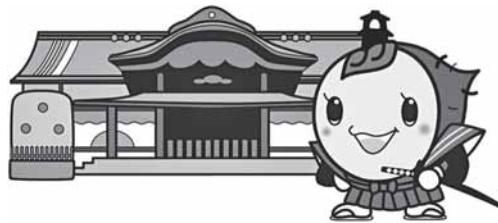
発行 川越市教育委員会

〒350-8601

埼玉県川越市元町1-3-1

TEL (049) 224-6074 (直通)

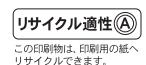
---



川越市マスコットキャラクター  
ときも



古紙再生紙及び大豆油インクを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ

リサイクルできます。